

科目名		環境疫学実習	
科目責任者	藤野善久	(環境疫学 教授)	
担当者	石丸知宏	(環境疫学 准教授)	
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>職場環境や一般環境が人の健康に与える影響を明らかにするため、曝露因子および健康影響指標に係るデータを用いて疫学的関連を明らかにする。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人の集団を対象とする研究、環境疫学研究に関する申請書類を作成することができる。 2) 職場環境因子と労働者の健康影響の環境疫学的関連を職場の環境対策に反映できる。 3) 職場環境因子と労働者の健康影響の環境疫学的関連を労働者の健康管理に応用することができる。 4) 職場環境因子と労働者の健康影響の環境疫学的関連を国の労働安全衛生施策に応用することができる。 5) 一般環境因子と住民の健康影響の環境疫学的関連を地域の環境対策に反映できる。 6) 一般環境因子と住民の健康影響の環境疫学的関連を住民の健康管理に応用できる。 7) 一般環境因子と住民の健康影響の環境疫学的関連を国の一般環境施策に応用できる。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度40%、課題レポート20%等で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		